

2018

教育要項
(臨床心理学科)

香川大学医学部

目 次

香川大学医学部の基本理念・教育目標・人材養成上の目的	1
香川大学医学部履修要項	2
香川大学医学部開設科目に係る欠席取扱い申合せ	8
GPAによる成績評価について	16
ディプロマ・ポリシー（DP）について	17
科目ナンバリングについて	19
平成30年度臨床心理学科行事予定表	22
平成30年度授業時間割表（1年次生用）	23
シラバス	
1年次生	
心理学概論	27
早期体験学習（多職種連携）	28
人体の構造と機能及び疾病Ⅰ（医学概論）	30
講義・実習時間割表	
1年次生	35

香川大学医学部の基本理念

- 1 世界に通ずる医学、看護学及び臨床心理学の教育研究を目指す。
- 2 人間性の豊かな医療人及び心理援助者、並びに医学、看護学及び臨床心理学の研究者を養成する。
- 3 医学、看護学及び臨床心理学の進歩並びに人類の福祉に貢献すると共に地域の医療及び心理援助の充実発展に寄与する。

教育目標

- 1 人間と人間を取り巻く環境についての幅広い基礎知識の上に、心理学・臨床心理学の専門的知識と技能を修得する。
- 2 心理学・臨床心理学に加えて医学の基礎を学び、医療・保健分野を中心とした実習経験を積むことで、心理学・臨床心理学と医学を相互に関連付ける基本的技能と能力を修得する。
- 3 地域の相談者に対して傾聴する技能、共感的なコミュニケーションの技能、心の問題を説明する上での心理学・臨床心理学上の実証的な研究方法を修得する。
- 4 心理臨床における責任感と倫理観を身につけ、さまざまな人間の心の問題を理解し、多職種連携・協働の観点を踏まえつつ、適切な援助が出来る基本的技能と能力を修得する。

人材養成上の目的

- 1 人間に対する高い倫理性と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者を育成する。
- 2 自ら課題を探求し、それを解決できる基本的な専門知識と技能、科学的思考力と共感的理解力を備えた心理援助者を育成する。
- 3 多職種連携・協働ができる資質を持ち、心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与すると共に、心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成する。

香川大学医学部履修要項

(趣旨)

第1 この要項は、香川大学学則(以下「学則」という。)、香川大学医学部規程及び香川大学追試験及び再試験に関する規則に定めるもののほか、履修に関し必要な事項を定める。

(授業科目等)

第2 開設する授業科目、単位数及び履修年次は、医学科にあつては別表1、看護学科にあつては別表2、臨床心理学科にあつては別表3のとおりとする。ただし、必要がある場合には教授会の議を経て、各年次配当及び単位数を変更することがある。

(授業科目の履修)

第3 授業科目は、原則として別表1、別表2及び別表3に定める年次配当順に履修するものとする。

2 学生は、別表1、別表2又は別表3に掲げる授業科目を履修しようとするときは、履修届を所定の期日までに学務課に提出しなければならない。

3 前項の履修届を提出したのち、履修すべき授業科目の変更又は取消しをする場合は、履修科目変更(取消)届を所定の期日までに学務課に提出しなければならない。

4 医学科の学生は、臨床実習開始前の学生評価のための共用試験(CBT及びOSCE)(以下「共用試験」という。)に合格し、一般社団法人全国医学部長病院長会議から Student Doctor に認定されなければ、医学実習Ⅰ及び医学実習Ⅱを履修できない。

(単位の認定)

第4 履修した授業科目については、試験又はその他の審査を行い、合格した科目について所定の単位を認定する。また、2学年以上にまたがる科目については、それぞれ履修途中における学年末に履修段階判定を行うことがある。

(試験)

第5 試験は、定期試験、追試験及び再試験とする。

2 定期試験は、原則として学期末に一定の期間を定めて行う。

3 追試験は、定期試験終了後に、再試験は、定期試験及び追試験終了後に期間を定めて行う。

4 前2項に定める試験のほか、担当教員は学習成果の評価を随時に行うことができる。

5 医学科の学生は、学部開設科目の講義については時間数の3分の2以上、実験及び実習については原則としてすべて出席しなければその授業科目の試験を受けることができない。

6 看護学科の学生は、学部開設科目の講義及び演習については3分の2以上、臨地実習については5分の4以上出席しなければその授業科目の試験を受けることができない。

7 臨床心理学科の学生は、学部開設科目の講義及び演習については3分の2以上、実験及び実習については原則としてすべて出席しなければその授業科目の試験を受けることができない。

8 次の各号のいずれかの事由により定期試験に欠席した者に対しては、追試験を行う。

(1) 天災その他の非常災害(事由書添付)

(2) 交通機関の突発事故(事由書添付)

(3) 負傷又は疾病(医師の診断書添付)

(4) 3親等内の親族の死亡による忌引き(事由書添付)

(5) 就職試験の受験(事由書添付)

(6) その他医学部長が相当と認める事由(事由書添付)

9 前項による追試験の許可を受けようとする者は、欠席した試験が行われた日の翌日から起算して7日以内に、前項各号に掲げる書類を添えて医学部長に願い出なければならない。

10 再試験は、定期試験又は追試験を受験し、不合格になった場合、願い出により科目担当教員の承認を得て受けることができる。

(成績の評価)

第6 成績の評価は、次表のとおりの評点及び評語をもって表し、秀、優、良又は可を合格、不可を不合格とする。

評点	評語
90 点以上	秀
80 点以上 90 点未満	優
70 点以上 80 点未満	良
60 点以上 70 点未満	可
60 点未満	不可

ただし、医学実習Ⅱ、課題実習、早期医学実習Ⅰ、早期医学実習Ⅱ、国際交流活動はこれらの評点及び評語によらず合格のときは了と評価することができる。

- 2 再試験の合格者の評価は、原則として可とする。
- 3 2か年以上の年次にわたって開講する科目については、その途中の各年次ごとに合又は否の履修段階判定を行うことができる。
- 4 成績の評価に疑義がある場合は、成績調査依頼ができる。

(医学科の履修段階判定及び進級判定)

- 第7 1年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格となった授業科目がある場合は、2年次に進級できない。ただし、不合格科目が全学共通科目のみのときは進級できる。
- 2 2年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格となった授業科目がある場合は、3年次に進級できない。ただし、不合格科目が全学共通科目のみのときは進級できる。
 - 3 3年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格又は否となった授業科目がある場合は、4年次に進級できない。全学共通科目についても、所定の単位以上修得していない場合は進級できない。
 - 4 4年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格若しくは否となった授業科目がある場合、又は共用試験に不合格となった場合は、5年次に進級できない。
 - 5 5年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格若しくは否となった授業科目がある場合は、6年次に進級できない。

(看護学科の進級判定)

- 第8 各学年次末において、該当学年次末までに履修しなければならない必修科目について、不合格となった授業科目がある場合は進級できない。ただし、1年次末において、全学共通科目は進級判定から除くものとし、2年次末までに修得しなければならない。
- 2 2年次末において、2年次までに履修しなければならない選択科目について、所定の単位以上修得していない場合は進級できない。
 - 3 3年次編入学生については、前2項の規定は適用しない。

(臨床心理学科の履修要件)

- 第9 2年次末において、1年次から2年次までに履修しなければならない必修科目について、所定の単位以上修得していない場合は、臨床心理学基礎研究Ⅰ、臨床心理学基礎研究Ⅱ、心理実習Ⅰ（心理支援実習）を履修することはできない。全学共通科目についても、所定の単位以上修得していない場合は、臨床心理学基礎研究Ⅰ、臨床心理学基礎研究Ⅱ、心理実習Ⅰ（心理支援実習）を履修することはできない。
- 2 3年次末において、1年次から3年次までに履修しなければならない必修科目について、所定の単位以上修得していない場合は、臨床心理学研究Ⅰ、臨床心理学研究Ⅱ、心理実習Ⅱ（チーム医療実習）及び卒業研究を履修することはできない。全学共通科目についても、所定の単位以上修得していない場合は、臨床心理学研究Ⅰ、臨床心理学研究Ⅱ、心理実習Ⅱ（チーム医療実習）及び卒業研究を履修することはできない。

(成績の認定)

第10 成績の総合認定は、教授会において審議する。

(再履修)

第11 1、2、3、4、5年次に留め置かれた場合は、不合格又は否となった授業科目(実習を含む。)を再履修するものとする。ただし、選択科目については該当する授業科目のうちから再履修するものとする。

2 前項の再履修の方法は、担当教員の指示による。

(聴講)

第12 既に合格となった授業科目の聴講を希望する者は、当該授業科目担当教員に聴講願を出して、許可を得た上で講義を聴講することができる。

なお、聴講できる授業科目は、聴講する学生の該当する学年次以下において開講されている授業科目とする。

(試験における不正行為)

第13 試験において不正行為があったときは、教授会の議を経て、不正行為があった学期のすべての授業科目の成績を無効とし、原級に留め置き、学則第84条により懲戒する。

(その他)

第14 その他この履修要項の定めにより処理し難い事項及び不合理な事例が生じた場合は、学務委員会の議を経て処理する。

附 則

1 この要項は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年9月30日に香川医科大学(以下「旧香川医科大学」という。)に在学し、かつ平成16年3月31日に旧香川医科大学に在学する者(以下「在学者」という。)及び在学者の属する年次に編入学等する者が在学しなくなるまでの間、旧香川医科大学を卒業するために必要とされる教育課程その他教育に必要な事項は、旧香川医科大学の医学部規程その他の規程等の定めるところによる。

附 則

この要項は、平成17年3月1日から施行する。ただし、改正後の要項第14及び別表1については、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。ただし、平成21年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成21年10月21日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成23年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成23年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成25年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成27年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成30年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

別表3

授業科目等		単位数			履修年次				備考				
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次					
全学共通科目	主題科目A	1			1				1単位修得	8単位以上修得	20単位以上修得	36単位以上修得	
	主題科目B		4		4				4単位以上修得				
	主題科目C-基礎科目	1			1				1単位修得				
	主題科目C-講義型科目		(2)		(2)				(2単位)(注1)				
	主題科目C-実践型科目		(2)		(2)				(2単位)(注1)				
	学問基礎科目(文系科目)	2	4		6				6単位以上修得	10単位以上修得			
	学問基礎科目(理系科目)	4			4				4単位以上修得				
	高度教養教育科目・広範教養教育科目	2				2			2単位以上修得				
	コミュニケーション科目	大学入門ゼミ	2			2				2単位修得			
		情報リテラシー	2			2				2単位修得			
既習外国語		6			4	2			6単位以上修得				
初修外国語		4			4				4単位以上修得				
健康・スポーツ実技		2			2				2単位修得				
専門基礎科目	基幹科目	心理学概論	2			2				12単位修得	7単位修得		
		心理学研究法	2					2					
		心理学統計法	2				2						
		心理学実験Ⅰ	2				2						
		心理学実験Ⅱ	2				2						
		臨床心理学概論	2				2						
	関連科目	医学系	早期体験学習(多職種連携)	2			2						
		人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論)	2			2							
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)	1				1						
		人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)	1				1						
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ(生化学・分子生物学入門)	1			1							
専門科目	基幹科目	心理学系	学習・言語心理学	2				2		46単位修得			
			知覚・認知心理学	2			2						
			神経・生理心理学	2				2					
			発達心理学	2			2						
			青年心理学	2				2					
			障害者・障害児心理学	2				2					
			教育・学校心理学	2			2						
			心理演習Ⅳ(グループ・コミュニケーション演習)	2				2					
			社会・集団・家族心理学	2			2						
			心理演習Ⅴ(コミュニティ・アプローチ演習)	2					2				
			福祉心理学	2				2					

授業科目等		単位数			履修年次				備考	
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	基幹科目	心理系	司法・犯罪心理学	2				2		46単位修得
		産業・組織心理学	2				2			
		心理的アセスメント	2			2				
		心理演習Ⅲ(心理的アセスメント演習)	2				2			
		感情・人格心理学	2			2				
		健康・医療心理学	2				2			
		心理学的支援法(カウンセリング概論)	2			2				
		人間性心理学	2				2			
		公認心理師の職責(心理師実践職能論)	2			2				
		心理演習Ⅰ(コミュニケーション演習)	2			2				
		心理演習Ⅱ(心理面接演習)	2				2			
	心理実習Ⅰ(心理支援実習)	2				2				
	社会学系	関係行政論(社会医学・関係行政論)	2			2			4単位修得	
	社会福祉論	2			2					
	医学系	人体の構造と機能及び疾病Ⅴ(心理援助職のための内科的疾患概説)	2				2		17単位修得	
	発達小児科学	2				2				
	精神疾患とその治療(精神医学)	2				2				
	心身医学	2				2				
	生命倫理学	1			1					
	心理実習Ⅱ(チーム医療実習)	4					4			
	関連科目	病理学・免疫学概説	1			1			自由	
		微生物学・医動物学概説	1			1				
		災害医学・緩和ケア	1				1			
		医療薬理学	1				1			
	教育系	教育原論			2		2		自由	
		障害児心理学			2		2			
課題研究	ゼミ・卒業研究	臨床心理学基礎研究Ⅰ	2			2		12単位修得		
	臨床心理学基礎研究Ⅱ	2				2				
	臨床心理学研究Ⅰ	2					2			
	臨床心理学研究Ⅱ	2					2			
	卒業研究	4					4			
計								卒業要件134単位以上		

(注1) ()内の単位数を上限として卒業要件単位数の単位として認定する。

香川大学医学部開設科目に係る欠席取扱い申合せ

平成 23 年 12 月 13 日
医学部学務委員会

香川大学医学部の学生の通学が困難となる事由が発生した場合における医学部開設授業（定期試験を含む。以下同じ。）の欠席の取扱いについて、次のとおり定める。

（定義）

第 1 この取扱いにおける各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 欠席とは、授業に出席しない場合をいう。
- (2) 休講とは、授業を取りやめることをいう。
- (3) 公欠とは、一定の条件を満たすことにより、授業に出席したものとみなす取扱いとする授業の欠席をいう。なお、公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、授業担当教員（以下「担当教員」という。）が当該授業に相当する学習を課すものとする。
- (4) 準公欠とは、担当教員の判断により、前号の取扱いに準じて授業に出席したものとみなす取扱いとする授業の欠席をいう。
- (5) 出席停止とは、学校保健安全法第 19 条に規定する出席停止をいう。

（学生が感染症に罹患した場合の取扱い）

第 2 学生が感染症に罹患した場合及び感染の拡大を防止するために医学部開設授業の一部又は全部を休講又は欠席する場合は、出席停止又は公欠とし、その取扱いは別紙 1 に定めるとおりとする。

（気象に関する警報の発表等の場合における取扱い）

第 3 気象に関する警報の発表等の場合は平成 26 年 2 月 24 日付け（全学）教務委員会申合せの定めるところにより取扱い、地震その他の非常災害により交通が困難となっている場合は休講又は公欠とし、その取扱いは別紙 2 に定めるとおりとする。

（学生の親族が死亡した場合の取扱い）

第 4 学生の親族が死亡した場合で、学生が葬儀、服喪その他親族の死亡に伴う忌引きのために通学できない場合は公欠とし、その取扱いは別紙 3 に定めるとおりとする。

（準公欠に該当する場合の取扱い）

第 5 第 1 第 4 号に該当する準公欠とは、次の各号に定めるとおりとする。ただし、実験・実習はすべて出席することを原則とし、その欠席は準公欠から除外する。なお、当該事由による欠席の取扱いについては担当教員に一任する。

- (1) 負傷又は疾病（医師の診断書を添付する。）
- (2) 就職試験の受験（事由書を添付する。）
- (3) 国際大会、全国体育大会、西日本医科学学生総合体育大会、西日本コメディカル総合体育大会、及び前 2 者の西日本大会に種目のないサークルは、当該大会に相当する大会（本大会に選手登録されている場合のみを対象とし、地区大会は認めない。選手登録されている事由書を添付する。）

(欠席届の提出)

第6 学生は、公欠または準公欠の事由に該当し授業を欠席する場合は、事前（事前に届出ができないときは事後）に別紙様式「欠席届」を速やかに医学部学務課へ提出するものとする。

(一授業科目当たりの公欠及び準公欠の制限)

第7 第2から第5までの規定にかかわらず、一の授業科目についての公欠及び準公欠の扱いとすることができる回数は、当該授業科目の授業回数の5分の1を超えることができないものとする。

(その他)

第8 第2から第5までに定めるもののほか、学生の通学が困難となる事由が発生した場合であって、学務委員長が特別の事情があると認めるときの授業等の取扱いについては、医学部学務委員会の議により学務委員長が判断し措置する。

附 則

この申合せは、平成23年12月13日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

この申合せは、平成25年4月1日から適用する。

この申合せは、平成26年5月15日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

この申合せは、平成27年2月18日から施行し、平成27年1月1日から適用する。

この申合せは、平成29年1月10日から施行し、平成29年1月1日から適用する。

この申合せは、平成29年4月1日から施行する。

別紙1 第2関係 (出席停止、公欠)

1. 学生が感染症に罹患した場合

(1) 学生が次表の感染症に罹患した場合は、医師の診断に基づき、出席停止とする。

感染症の種類	学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症の病名
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）、特定鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清亜型が新型インフルエンザ等感染症の病原体に変異するおそれが高いものの血清亜型として政令で定めるものであるものに限る。以下「特定鳥インフルエンザ」という。）、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第二種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

(2) 出席停止の期間は、学校保健安全法施行規則第19条に規定する出席停止の期間を基準に、医師に治癒したと診断されるまでとし、医師の発行する次の項目が記載された診断書（治癒証明書）に基づき措置する。

- 一 病名
- 二 罹患期間

【学校保健安全法施行規則第19条に規定する出席停止の期間】

- 1) 第一種の感染症にかかった者については、治癒するまで。
- 2) 第二種の感染症（結核及び髄膜炎菌性髄膜炎を除く。）にかかった者については、次の期間。ただし、病状により学校医、保健管理センター医師その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでない。

イ インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあつては、発症した後五日を経過し、かつ、解熱した後二日を経過するまで。

ロ 百日咳にあつては、特有の咳が消失するまで又は五日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。

ハ 麻しんにあつては、解熱した後三日を経過するまで。

- ニ 流行性耳下腺炎にあつては、耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
 - ホ 風しんにあつては、発しんが消失するまで。
 - ヘ 水痘にあつては、すべての発しんが痂皮化するまで。
 - ト 咽頭結膜熱にあつては、主要症状が消退した後二日を経過するまで。
- 3) 結核、髄膜炎菌性髄膜炎及び第三種の感染症にかかった者については、病状により学校医、保健管理センター医師その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。
 - 4) 第一種若しくは第二種の感染症患者のある家に居住する者又はこれらの感染症にかかっている疑いがある者については、予防処置の施行の状況その他の事情により学校医、保健管理センター医師その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。
 - 5) 第一種又は第二種の感染症が発生した地域から通学する者については、その発生状況により必要と認めたとき、学校医、保健管理センター医師の意見を聞いて適当と認める期間。
 - 6) 第一種又は第二種の感染症の流行地を旅行した者については、その状況により必要と認めたとき、学校医、保健管理センター医師の意見を聞いて適当と認める期間。

2. 出席停止となった期間の授業の取扱い

学生が、出席停止となった期間に出席できなかった授業については、届出により公欠扱いとする。

3. 公欠の届出

感染症に罹患した場合は、学生が医学部学務課へ電話連絡を行い、公欠の届出は、治癒後、別紙様式「欠席届」により、学生が医学部学務課へ医師の診断書（治癒証明書（コピー可））とともに提出するものとする。

届出を受理した場合は、その写しにより担当教員へ連絡するものとする。

4. 感染の拡大を防止するために医学部開設授業の一部又は全部を休業する場合

感染症罹患者の発生に伴い、感染の拡大を防止する目的で行う休業措置は医学部長が決定するものとする。

5. 学生への連絡

休業の周知は、学内掲示、本学医学部ホームページ掲載、メール送信等により、学内及び学外実習中の学生に速やかに行うものとする。

別紙2 第3関係 (出席停止、公欠)

気象に関する警報の発表等の場合における休講措置の基準について

平成26年 2月24日 (全学) 教務委員会申合せ
平成26年11月17日 (全学) 教務委員会一部改正

全ての学部及び研究科の開講科目並びに全学共通教育の開講科目に関して、特別警報及び気象警報の発表等の場合における休講の措置は、次の基準による。

なお、休講の措置については、掲示及びホームページへの掲載等により周知する。

1. 特別警報の発表による場合

各キャンパスの所在する地域に特別警報の発表があった場合は、当該キャンパスの全ての授業を直ちに中止する。

2. 気象警報の発表による場合

(1) 昼間の授業について

指定する地域に、大雨、洪水、暴風又は大雪の警報が、午前6時30分に発表されている場合は休講とする。午前6時30分以降に発表された場合は、発表された時刻以降に開始する授業を休講とする。

ただし、午前10時30分の時点で警報が解除されている場合で、かつ、それ以降に発表されないときは、午後1時以降に開始される授業を実施する。

(2) 夜間の授業(午後6時以降に開始する授業)について

指定する地域に、大雨、洪水、暴風又は大雪の警報が、午後3時に発表されている場合は休講とする。午後3時以降に発表された場合は、発表された時刻以降に開始する授業を休講とする。

(3) 前2号の指定する地域を次のとおり定める。

幸町キャンパス及び林町キャンパスは高松市とし、医学部キャンパス及び農学部キャンパスは、高松市又は三木町とする。

なお、居住地の気象状況又は交通機関の運休等により、登校できなかった学生については、補講等により個別に対応するものとする。

(4) 教育実習、臨床実習、臨地実習及びフィールドワーク科目等の授業で前各号によりがたい場合は、その都度、その授業を開講する部局の長が判断し措置する。

3. その他非常時の場合

学部、研究科及び全学共通教育の開講科目については、学部長等が判断し措置する。

附 則

1 この申合せは、平成26年4月1日から施行する。

2 この申合せの施行により、気象警報の発令等の場合における休講措置の基準について(平成22年1月6日制定)は、廃止する。

3 この申合せは、平成27年1月1日から施行する。

1. 公欠の届出

公欠の届出は、後日、別紙様式「欠席届」により、学生が医学部学務課へ交通機関の運行休止、道路遮断を明らかにする書類とともに提出するものとする。

教務係は、届出を受理した場合は、その写しにより担当教員へ連絡するものとする。

2. 学生への連絡

休業の周知は、学内掲示、本学医学部ホームページ掲載、メール送信等により、学内及び学外実習中の学生に速やかに行うものとする。

別紙3 第4関係 (公欠)

I. 学生が葬儀、服喪その他親族の死亡に伴う忌引きのために通学できない場合

1. 忌引きの対象となる親族の範囲

- ① 配偶者
- ② 1親等(親、子)
- ③ 2親等(兄弟姉妹、祖父母、孫)
- ④ 3親等(本人・配偶者の曾祖父母、伯父叔伯母、曾祖父母・伯父叔伯母の配偶者、甥姪、甥姪の配偶者、曾孫)

2. 忌引きの日数

- ① 配偶者の場合は、死亡した日以降の連続する7日以内(土、日、休日を含む。)
- ② 1親等の場合は、死亡した日以降の連続する7日以内(土、日、休日を含む。)
- ③ 2親等の場合は、死亡した日以降の連続する3日以内(土、日、休日を含む。)
- ④ 3親等の場合は、死亡した日若しくは死亡した翌日以降の1日(土、日、休日を含む。)

3. 公欠の届出

公欠の届出は、後日、別紙様式「欠席届」により、学生が医学部学務課へ会葬礼状等裏付ける書類とともに提出するものとする。

届出を受理した場合は、その写しにより担当教員へ連絡するものとする。

別紙様式

欠 席 届

平成 年 月 日

香川大学医学部長 殿

医学部 学科

第 年次

学籍番号 番

氏 名

連絡先TEL

下記事由により欠席します（しました）のでお届けします。

記

期間 平成 年 月 日から

平成 年 月 日まで

理由 _____

授業科目名及び担当教員

授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員

提出書類等（欠席届裏面）

以下の事項については、各事項に定められた証明書類を添付の上、事前（事前に届出ができないときは事後）に、この「欠席届」を速やかに医学部学務課教務係へ提出すること。

教務係は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡する。

1. 学生が学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する感染症に罹患した場合
 - (1) 医師の診断に基づき、出席停止とする。学生が、出席停止となった期間に出席できなかった授業については、届出により公欠扱いとする。
 - (2) 医師の診断に基づき感染症に罹患したことが判明したときは、学生が医学部学務課学生係へ届出の電話連絡を行うこと。
 - (3) 出席停止の期間は、学校保健安全法施行規則第 19 条に規定する出席停止の期間を基準に、医師に治癒したと診断されるまでとする。なお、医師の発行する診断書は次の項目が記載された診断書（治癒証明書）とする。
 - 一 病名、二 罹患期間、三 治癒したことの証明
 - (4) 公欠の届出は、治癒後、この「欠席届」に医師の診断書（治癒証明書（コピー可））を添付すること。
2. 気象に関する警報の発表等により休講となる場合には、この「欠席届」の提出はしなくてよい。地震、その他の非常災害により交通が困難となる場合の公欠の届出は、この「欠席届」に交通機関の運行休止、道路遮断を明らかにする書類を添付すること。
3. 学生が葬儀、服喪その他親族の死亡に伴う忌引きのために通学できない場合の公欠の届出は、この「欠席届」に会葬礼状等裏付ける書類を添付するとともに、死亡した親族の続柄、葬儀場所の住所（都道府県名、郡区市名）、葬祭日を明記すること。
4. 次の準公欠の事由により授業に欠席した場合は、各号の書類を添付すること。ただし、実験・実習の欠席は準公欠の取扱いから除外するものとする。
 - (1) 負傷又は疾病（医師の診断書を添付する。）
 - (2) 就職試験の受験（事由書を添付する。）
 - (3) 国際大会、全国体育大会、西日本医科学生総合体育大会、西日本コメディカル総合体育大会、及び前 2 者の西日本大会に種目のないサークルは、当該大会に相当する大会（本大会に選手登録されている場合のみを対象とし、地区大会は認めない。選手登録されている事由書を添付する。）

GPAによる成績評価について

GPA (Grade Point Average) 制度は、アメリカの大学において、一般的に用いられている学生の成績評価システムである。1人の学生が修得してきた授業科目の成績評語(評価)ごとに、以下の表のようにGP (Grade Point) を与え、それを平均したものをGPA (Grade Point Average) という。

医学部においては、平成28年4月1日入学者から適用する。

評語(評価)	秀(S)	優(A)	良(B)	可(C)	不可(X)
評点	90点以上	80点以上 90点未満	70点以上 80点未満	60点以上 70点未満	60点未満
GP	4	3	2	1	0

【GPA算出式】

$$\text{GPA} = \frac{\text{秀の修得単位数} \times 4 + \text{優の修得単位数} \times 3 + \text{良の修得単位数} \times 2 + \text{可の修得単位数} \times 1}{\text{※履修登録単位数総数}}$$

※不可・履修放棄・試験放棄の単位を含む。また同じ科目を何度も再履修した場合は、再履修の都度の履修登録単位を含む。

【対象科目】

GPAの対象科目となる科目は、本学開講科目を対象とするが、成績が「合」・「了」と標記される科目や医学部以外の他学部開講科目、他大学開講科目は除外する。

認定英語 (TOEIC など)、初修外国語 (単位認定)、再履修科目は対象科目とする。

ディプロマ・ポリシー (DP) について

ディプロマ・ポリシー (DP) とは、大学ごとに設定している卒業認定・学位授与に関する方針 (卒業までに身につけるべき能力) のことです。

香川大学では DP を「本学の学士課程を修了し、21世紀市民として巣立つ学士に対して保証する最低限の素養」と再定義し、その素養を以下の5つに分類している。あわせてその DP を示すアルファベットを以下のとおり定義している。

〈DP と DP を示すアルファベット〉

- a : 言語運用能力
- b : 知識・理解
- c : 問題解決・課題探求能力
- d : 倫理観・社会的責任
- e : 地域理解

医学部臨床心理学科におけるディプロマ・ポリシー (卒業の認定に関する方針)

ディプロマ・ポリシー (DP)

香川大学医学部臨床心理学科では、その教育理念に基づき、心理学及び臨床心理学の体系的な知識、心理臨床における基礎的实践力とともに医学的素養を有し、援助的コミュニケーション能力を発揮して、医療・教育・福祉等の分野で多職種連携・協働ができる資質を持った心理援助者を育成します。本学科を修了し、本学が送り出す学士 (臨床心理学)・21世紀型市民として身につけるべき能力・態度の到達基準は、次のとおりです。

a 言語運用能力

- * 人間性を尊重した対人支援の態度を持ち、共感的コミュニケーションを実践することができる。
- * クライアントや患者を中心にして、多職種と連携・協働しようとする態度を身につけている。
- * 国際的視野を持ち、世界標準の心理学・臨床心理学領域の研究に関する情報を収集することができる。

b 知識・理解 (21世紀型市民及び学士 (臨床心理学) として)

- * 心理学・臨床心理学の基礎知識を有している。
- * 医療・保健、教育、福祉等の心理臨床の現場において、心理援助者が必要とする基礎的知識・技能を有している。
- * 心理援助者が必要とされる職場における心理援助者の役割を説明することができる。

*身体と精神が相互に関連していることを理解するとともに、心理援助者にとって重要な疾患、障害についての知識を有している。

*21世紀を生きる市民が必要とする幅広い教養を有している。

c 問題解決・課題探求能力

*心理学・臨床心理学の学びの中、あるいは心理臨床の現場において、自ら問題点を見出し、解決することができる。

*心の問題に対して実証的な研究方法を適用することができる。

*積極性・向上心を持ち、自己主導型学習を実践することができる。

d 倫理観・社会的責任

*心理援助者として倫理観・使命感・責任感を持ち、省察的態度をもって行動することができる。

*専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢を持っている。

*法令・社会的規範を遵守し、社会の一員として行動することができる。

e 地域理解

*地域社会における医療・保健、教育、福祉等の現状と課題に関心を持ち、心理援助者の専門的役割と関連付けて理解することができる。

科目ナンバリングについて

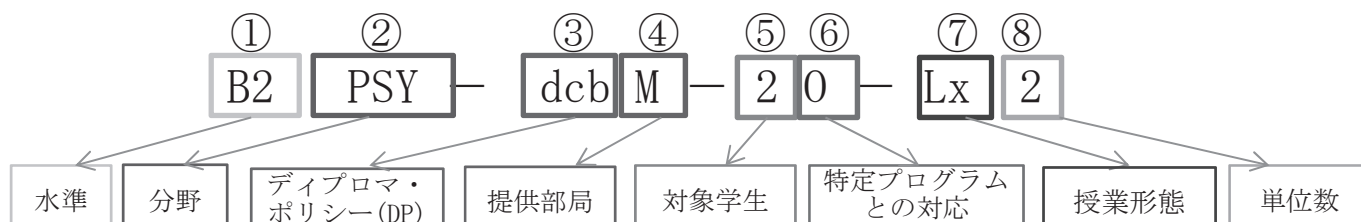
1. 科目ナンバリングとは

本学では、平成30年度から「科目ナンバリング」を導入します。科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し、その科目の水準や内容等をコード化することにより教育課程の体系的性を明示する仕組みを言います。学生が授業を受けるにあたり、その受講科目がカリキュラムの中でどのような水準でどのような位置付けにあり、そしてどのような能力を身につけるのに役立つ授業なのか等を確認する手助けとなります。

また、近年、大学教育のグローバル化が進む中、留学を通じた単位互換制度等を運用するに当たり、授業科目の内容と水準をコード化し簡潔に示すことにより、これら制度の円滑な運用が期待できます。

2. コードの意味（ナンバリング構成要素）

例：臨床心理学科「心理学概論」の場合



① 水準（大文字アルファベット1ケタ及び数字1ケタの組み合わせ）

その授業科目が教育課程のどの位置付けにあるものかを示しています。

B：学士課程	1：入門科目
M：修士課程（相当）	2：基礎科目
D：博士課程	3：応用科目
	4：統合科目
	5：その他の科目

② 分野（大文字アルファベット3ケタ）

その授業科目がどの学問分野であるかを示しています。

例 MED：医学 NRS：看護学 PHN：公衆衛生看護学 SHN：養護学 PSY：心理学

その他詳しくは香川大学HPを参照してください。

③ ディプロマ・ポリシー（アルファベット3ケタ）

ディプロマ・ポリシー（DP）とは、大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針です。（前ページを参照）

④ 提供部局（大文字アルファベット1ケタ）

その授業科目を開講する学部、研究科等を示しています。

M：医学部・医学系研究科

⑤ 対象学生（数字1ケタ）

その授業科目の対象となる学生を示しています。

1：全学生
2：提供部局に所属する学生のみ
3：提供部局に所属する学生＋受講を希望する学部学生
4：提供部局に所属する大学院生＋受講を希望する大学院生
5：特定プログラムを履修している学生のみ

⑥ 特定プログラムとの対応（大文字アルファベット1ケタ）

その授業科目が高度教養教育科目、ネクスト・プログラム関連科目かどうかを示しています。

A：高度教養教育科目
N：ネクスト・プログラム関連科目
M：高度教養教育科目及びネクスト・プログラム関連科目
0：対応なし

⑦ 授業形態（大文字アルファベット1ケタ及び小文字アルファベット1ケタの組み合わせ）

その授業科目が主にどのような形態で実施されるかを示しています。

L：講義	g：グループワーク
E：演習	p：PBL
P：実験・実習	f：フィールドワーク
M：講義＋実験・実習（医学部のみ）	e：フルeラーニング
	b：ブレンディッドラーニング（反転学習等）
	x：該当なし

○PBL

Problem Based Learning や Project Based Learning の略称。前者は、社会で起こりうる現実的な問題をもとに学習し、問題の発見と解決策を検討するプロセスを通じて学ぶ形態。後者は、大卒のテーマに沿って学生が自ら課題や目標を設定し、その解決や実現に向けて自ら計画し、実行する過程から学ぶ形態。

○フィールドワーク

教室を出て現地で観察することから学びを得る形態。

○フルeラーニング

eラーニングは、インターネットに接続されたコンピュータを使って電子教材（動画コンテンツを含む）で学習する形態。特に、フルeラーニングは一度も対面授業を含まない形態。

○ブレンディッドラーニング（反転学習）

eラーニングと対面授業を組み合わせた形態。特に、反転学習はeラーニングによる授業外学修（宿題など）と講義室での学びの内容を逆転させた形態。

⑧ 単位数（数字1ケタ）

その授業科目の単位数を示しています。（Mは10単位以上。）

平成 30 年度 行事予定表

平成 30 年度 授業時間割表

平成30年度行事予定表(臨床心理学科)

学期	学年	1	
前期	4	1 日 学年始 第1学期開始	
		3 火 入学式・ガイダンス	
		4 水 新入生ガイダンス	
		5 木 新入生修学相談会・履修登録	
	6 金 新入生修学相談会		
	9 月 新入生修学相談会・定期健康診断		
	10 火 授業開始		
	14 土 新入生合宿研修(4/14~15)		
	15 日		
	5	1 火 月曜日授業振替日	
		2 水 金曜日授業振替日	
	6	26 土 授業予備日	
	7	20 金 月曜日授業振替日	
		21 土 授業予備日	
		28 土 授業予備日	
		30 月 第1学期定期試験(7/30~8/3)	
	8	2 木 医学部オープンキャンパス(8/2~3)	
		3 金	
		6 月 夏季休業開始 授業・定期試験予備日(8/6~8/10)	
		10 金	
	9		
		30 日 夏季休業終了・第1学期終了	
	後期	10	1 月 第2学期開始 大学記念日(休業)
			2 火 授業開始
			6 土 医学部祭
			7 日
			9 火 月曜日授業振替日
			27 土 授業予備日
11			1 木 金曜日授業振替日
			2 金 香大祭(前夜祭)(臨時休業)
			3 土 香大祭
			4 日
		5 月 香大祭撤収日(臨時休業)	
		7 水 月曜日授業振替日	
10 土 授業予備日			
23 金 推薦入試(医学科)			
12			
		25 火 冬季休業開始	
1		7 月 冬季休業終了	
		8 火 授業開始	
		15 火 月曜日授業振替日	
		16 水 金曜日授業振替日	
		18 金 センター試験設営(臨時休業)	
		19 土 大学入試センター試験	
		20 日	
		2 土 授業予備日	
2		7 木 第2学期定期試験(2/7~2/14)	
		14 木 月曜日試験・授業振替日	
		15 金 授業・定期試験予備日(2/15~2/21)	
		21 木	
		25 月 入学者選抜試験(前期)	
		26 火	
3	11 月 春季休業開始		
	12 火 入学者選抜試験(後期・医学科)		
	13 水		
	31 日 春季休業終了・第2学期終了 学年終		

平成30年度 臨床心理学科授業時間割表 (1年次生)

前期 (4月10日 ~ 8月3日)

曜日	I時限 8:50~10:20	II時限 10:30~12:00	III時限 13:00~14:30	IV時限 14:40~16:10	V時限 16:20~17:50
月	全学共通科目 (幸町キャンパス)				
火	全学共通科目 (幸町キャンパス)				
水	大学入門ゼミ (川人・野口他) 301, 303, 研519(マルチ)	心理学概論 (野口 他) A, 臨2		情報リテラシー (野口・川人他) マルチ	
木	全学共通科目 (幸町キャンパス)				
金	全学共通科目 (幸町キャンパス)				

(備考)

1. 前期定期試験 7月30日(月)~8月3日(金)
[授業・定期試験予備日 8月6日(月)~8月10日(金)]

後期 (10月1日 ~ 3月8日)

曜日	I時限 8:50~10:20	II時限 10:30~12:00	III時限 13:00~14:30	IV時限 14:40~16:10	V時限 16:20~17:50
月	全学共通科目 (幸町キャンパス)				
火	全学共通科目 (幸町キャンパス)				
水	早期体験学習 (多職種連携) (神原 他) A, D	人体の構造と機能及び疾病 I (医学概論) (黒滝・神原) A			
木	全学共通科目 (幸町キャンパス)				
金	全学共通科目 (幸町キャンパス)				

は医学部キャンパスで授業を実施する。

(備考)

1. 後期定期試験 2月7日(木)~2月14日(木)
[授業・定期試験予備日 2月15日(金)~2月21日(木)]
2. 教室名 A…大講義室A(講義棟1階) D…大講義室D(講義棟2階)
小D…小講義室D(講義棟2階) 小E…小講義室E(講義棟2階)
マルチ…マルチメディア実習室(看護学科棟2階)
301…301講義室(看護学科棟3階)
303…303講義室(看護学科棟3階)
研519…カンファレンス室(基礎臨床研究棟5階)
臨2…臨床講義棟2階講義室

シラバス

1 年次生

心理学概論

早期体験学習（多職種連携）

人体の構造と機能及び疾病 I（医学概論）

※全学共通科目については web シラバスを参照すること

ナンバリングコード： B2PSY-dcbM-20-Lx2 授業科目名 (時間割コード：780010) 心理学概論 Outline of Psychology	科目区分	時間割 前期 水 2限	対象年次及び学科 1年 臨床心理学科
	水準・分野 B2PSY	DP・提供部局 dcbM	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 笥 善行、黒滝直弘、横見瀬裕保、豊嶋克美、 芳地 一、村上弥生、永尾 幸、高田 純、 林 智一、川人潤子、橋本忠行、野口修司、 神原憲治、竹森元彦、山田俊介	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、心理学が成立した過程・歴史、対象とする領域、研究法について学習する。また、人の心の基本的な仕組み及び働きの基礎的内容について学習する。それに加えて、医療従事者のあり方や健康に関する諸問題に触れることを通して、心理学と医療、心と身体の関連について学習する。さらに、講義全体を通して、心理援助職を志す者としての態度や倫理について考えを深める機会とする。			
授業の目的 1) 心理学が成立した過程・歴史、対象とする領域、研究法について理解する。 2) 人の心の基本的な仕組み及び働きの基礎的内容について理解する。 3) 心理学と医療、心と身体の関連について理解する。 4) 心理援助職を志す者としての態度や倫理について認識する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 心理学の成り立ちについて説明することができる。 2) 人の心の基本的な仕組み及び働きについて説明することができる。 3) 心理学と医療、心と身体の関連について説明することができる。 4) 心理援助職を志す者としての態度や倫理について説明することができる。			
成績評価の方法と基準 ミニレポート、学期末試験、出席・受講態度などから総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業計画】 第1回 心理学と医療Ⅰ 笥 善行(学長)(合同授業) 第2回 心理学と医療Ⅱ 黒滝直弘 第3回 心理学と医療Ⅲ 横見瀬裕保(病院長)(合同授業) 第4回 心理学と医療Ⅳ 豊嶋克美(看護部長)(合同授業) 第5回 心と身体の健康Ⅰ 芳地 一(薬剤部長)(合同授業) 第6回 心と身体の健康Ⅱ 村上弥生(男女共同参画推進室)(合同授業) 第7回 心と身体の健康Ⅲ 永尾 幸・高田 純(保健管理センター)(合同授業) 第8回 心理学とは・心理学の成り立ち 林 智一 第9回 認知・学習 川人潤子 第10回 感情・人格 橋本忠行 第11回 発達 林 智一 第12回 社会・集団 野口修司 第13回 脳の働きと心の障害 神原憲治 第14回 心理臨床Ⅰ 竹森元彦 第15回 心理臨床Ⅱ 山田俊介 【授業及び学習の方法】 授業内容の理解度をみるために毎回、授業終了時にミニレポートを提出し、レポート提出をもって出席とみなす。遅刻者に対しては遅刻時間に応じた減点を科す。授業を聞きながらレポートを書くことになるため、相当の集中力を要する。遅れて提出されたレポートは採点対象外となる。 教科書は各自で読み進めておくこと。授業内容に興味をもったら、積極的に関連の本を読むことをすすめる。改めて講師に質問したい場合は、必ず事前にアポイントを取ること。			
教科書・参考書等 京都大学心理学連合(編) 心理学概論 ナカニシヤ 2011 (¥3,000+税) その他、適宜資料を配布する。			
オフィスアワー オムニバス方式のため、各担当教員に確認のこと。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 15回のうち6回は医学科・看護学科との合同授業であり、臨床講義棟2階講義室で実施する。離れた教室への移動となるので開始時間に遅れないように行動すること。合同授業の一部は3大学連携事業の一環として実施する。 学期末試験は、第8回～15回の範囲で出題する。			

ナンバリングコード： B2PSY-eabM-20-Mf2 授業科目名 (時間割コード：780070) 早期体験学習 (多職種連携) Early Exposure to Medicine (Interprofessional Education : IPE)	科目区分	時間割 後期 水1・2限	対象年次及び学科 1年臨床心理学科
	水準・分野 B2PSY	DP・提供部局 eabM	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Mf	単位数 2	
担当教員名 臨床心理学科：神原憲治、黒滝直弘、野口修司、 川人潤子 医学科：岡田宏基、坂東修二、川口郁代	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 講義・実習90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 将来心理援助職になるに当たり、基本的な医学的知識を得ること、および、地域援助の一環として地域の医療・高齢者福祉の現場を入学後早期に体験することは非常に意義深いことである。この授業では、地域に向く前に必要なマナーや実習目的などを医学科学生と共にグループワークを通じて検討し、高松市およびその周囲の医療機関、および介護老人保健施設での臨地実習を行うことにより心理援助職としてのあるべき姿勢を学んでいく。 後半は、課題発見・解決能力を修得するために、チューターの指導の下に小グループでのPBLチュートリアルを行う。			
授業の目的 まず、以降の講義を理解しやすくするために、人体の基本的構造と機能、および日常的によく見られる疾患についての知識を習得する (DP「知識・理解」に対応)。実習では医学科学生と合同で実習に必要な項目についてのグループワークを行った後に、地域医療、介護福祉の現場に触れて、心理援助職としてのあるべき姿勢を学んでいく (DP「問題解決・課題探求能力」、「倫理観・社会的責任」、「地域理解」に対応)。 PBLチュートリアルでは、提示された課題について、解決すべき問題点を抽出し、その解決に向けて、小グループでディスカッションを行う (DP「問題解決・課題探求能力」に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 身体の大まかな構造と機能を説明できる。 2. 日常的によく遭遇する疾患について簡単に説明できる。 3. 地域医療の現場に接し、心理援助職となるための基本的な心構えを習得する。 4. 高齢者医療福祉の特徴を介護・福祉の現場を通じて理解する。			
成績評価の方法と基準 出席毎のミニレポート、学習態度、および実習のレポート等により総合的に評価する。 なお、グループワーク、実習、学外実習発表会準備、学外実習発表会の参加は必修である。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 講義は必要最小限とし、まずグループワークを通じて、学外実習の意義、医療機関や介護老人保健施設を訪問する際のマナー、礼節、および個人情報の保護などについて基本的事項を習得する。 学外実習は午前半日 2週×2回行う。全体を半分に分け、前2回と後2回 (医療機関2週→介護老人保健施設2週、又は介護老人保健施設2週→医療機関2週) としていずれも体験する。 実習場所は、インターネットなど様々な情報を自分で取得し、自主的に実習先を決定する。実習後は、そこで学んだことを個々にレポートとしてまとめ、それを基にして講義の最後で全体発表会を行い、個人の経験をできる限り全体として共有する。 【授業計画】 第1回 オリエンテーション／からだを知ろう1 (医学科と合同) 第2回 からだを知ろう2 (同上) 第3回 学外実習の説明 (同上) 第4回 高齢者の福祉施設について (同上) 第5, 6回 実習場所の選択 (同上) 第7, 8回 グループワーク (同上) 第9, 10回 学外実習1-1 (同上) 第11, 12回 学外実習1-2 (同上) 第13, 14回 PBLチュートリアル1, 2 第15, 16回 学外実習2-1 (同上) 第17, 18回 学外実習2-2 (同上) 第19回 学外実習のまとめ (同上) 第20回 チュートリアル準備 第21, 22回 PBLチュートリアル3, 4 第23, 24回 PBLチュートリアル5, 6			

第25, 26回	PBLチュートリアル7, 8	
第27回	学外実習発表準備	(医学科と合同)
第28回	PBLチュートリアル発表会	
第29, 30回	学外実習発表会	(医学科と合同)
教科書・参考書等 各回担当講師が必要に応じて提示する。		
オフィスアワー 基本的に水曜日午前中が望ましいが詳細は各教員に相談の事。事前にアポイントメントをとっていただくとなおありがたい。		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 医療、介護、福祉等の現場では担当教員の指示に従い行動してください。当然ながら守秘義務も発生します。社会人として常識のある行動が求められます。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。		

ナンバリングコード： B2PSY-bdxM-20-Lx2 授業科目名 (時間割コード：780080) 人体の機能及び疾病 I (医学概論) Mechanism of Human Body and Diseases I (Introduction to Medicine)	科目区分	時間割 後期 水 3 限	対象年次及び学科 1年 臨床心理学科
	水準・分野 B2PSY	DP・提供部局 bdxM	対象学生・特定プログラムとの対応 20
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 黒滝直弘、神原憲治	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分(ディスカッションを含む) × 15回 + 自学自習			
授業の概要 平成30年度から新設される公認心理師は従来の心理専門職に比べて医療(医学)との距離が近い職業です。よって特に、医療の中で行われる医療専門者との連携協働を進めるために共通言語としての医学の基本を学ぶことが求められます。医療現場の中で他のスタッフと一緒に働けることを目指すわけです。医学は2年時以降専門的にも学ぶことにはなりますが、その入門編として医学全般を俯瞰し、医学の構造を理解するとともに、共通言語としての専門用語にも触れることが本授業の概要となります。			
授業の目的 医学(医療)は一般に基礎医学、臨床医学、社会医学の3つの領域に分類されます。基礎医学は医学の歴史、生理学、解剖学、病理学等が含まれます。臨床医学では診断学の基本や、様々な病気について疾患の基礎を理解してもらいます(DP「知識・理解」に対応)。さらには病院の現場で行われている医療についての実際や、予防医学・社会学等の側面、法律を概観することで、「医学(医療)とは何か」、「医学では何か問われているか」という全容を理解していただきます(DP「知識・理解」、「倫理観・社会的責任」、「問題解決・課題探究能力」に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 歴史を含む医学の概要を理解し、基礎医学、臨床医学、社会学についての意味を説明できる。 2. 生理系、病理系において看護師や理学・作業療法士らコメディカルスタッフとの共通の医学用語を暗記し、説明できる。 3. 病因としての環境、文化、遺伝、感染等の概念を具体的に提示し説明できる。 4. 医療現場で遭遇する代表的な疾患について、簡単に説明できる。 5. 主なコメディカルの名称、役割などの概要を説明できる。 6. 医療に関する主な法律の概要を説明できる。			
成績評価の方法と基準 期末試験を80%、他出席点、レポートの評価を加味します。出席は3分の2未満で試験の受験資格を失うこととなるので注意してください。授業では内容を全て理解してもらい、その上で一部を暗記するという姿勢が重要です。授業内容全てを覚えきれぬものではありませんので、暗記すべき事項は毎回、授業の際、提示します。教科書を指定しますが、学生諸君は出来るだけインターネットに接続可能な携帯電話やiphoneなどの機器を授業の際に、持参していただければ幸いです。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
教科書にそって下記の順序で授業します。()内は担当教員です。 【授業計画】 第1回 医学の基本(黒滝) 第2回 医学の歴史(神原) 第3回 人体の構造と機能(黒滝) 第4回 環境・文化と人間の健康(神原) 第5回 病気の基本(黒滝) 第6回 病院・病態別の病気の分類(神原) 第7回 器官・領域別の病気の種類(黒滝) 第8回 病気の診断(黒滝) 第9回 病気の治療と予防(黒滝) 第10回 医療の基本(黒滝) 第11回 医療の現場(黒滝) 第12回 社会医学の視点：公衆衛生学(黒滝) 第13回 予防医療(黒滝) 第14回 社会の医療情勢と医療体制(黒滝) 第15回 医療法規と医療行政(黒滝)			

【授業及び学習の方法】

毎回、基本的に講義形式の授業とします。授業の後半で暗記するための時間をとります。定期試験の前には忘れていたかもしれませんが、忘れてまた暗記する、というのが学習の基本です。

教科書・参考書等

教科書は医学概論（中島泉著, 南江堂, 2015）を指定します。他に、インターネット上にある情報を適宜参考にします。ネットは情報収集に有用ですが、一方でそれらの情報は玉石混合です。授業ではどのようにインターネットを利用するかについても指導します。さらに教科書とは別に「病気が見える」シリーズ（医療情報科学研究所, 2017）を参考書として掲げます。このシリーズは医学生、看護学生を含む全ての医療系学生向けに書かれている本で、内容は充実しています。

オフィスアワー : 基礎臨床研究棟 7階 水曜日午前中を歓迎します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

学生諸君には最初から高度な知識は求めませんが、真摯な学習態度を期待しています。教室で会えることを楽しみにしています。なお、本授業では、将来の公認心理師の国家試験を念頭においた授業であり、その点では学術面では物足りないという学生もいるかもしれません。そう感じた学生諸君は直接に、相談ください。

講義・実習時間割表

平成30年度 講義・実習時間割 1年次生

1学期

	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月3日 火	10:00～入学式 (幸町キャンパス) 10:30～12:00 全学共通科目ガイダンス		13:30～医学部ガイダンス (医学部キャンパス) 大学入門ゼミ用紙配布		
4月4日 水	ガイダンス (幸町キャンパス)				
4月5日 木	ドリームキャンパス説明・履修登録説明、個別修学相談、時間割作成、履修登録 (医学部キャンパス)				
4月11日 水	大学入門ゼミ (川人 他) 301, 303, 研519	心理学概論 心理学と医療 I (学長) 臨 2		情報リテラシー (野口・川人) マルチ	
4月18日 水	大学入門ゼミ (川人 他) 301, 303, マルチ	心理学概論 心理学と医療 II (黒滝) A		情報リテラシー (野口・川人) マルチ	
4月25日 水	大学入門ゼミ (川人 他) 301, 303, マルチ	心理学概論 (遠隔) 心理学と医療 III (病院長) 臨 2		情報リテラシー (野口・川人) マルチ	
5月2日 水 (金曜日授業)	全学共通科目 (幸町キャンパス) (金曜日授業に振替)				
5月9日 水	大学入門ゼミ (川人 他) 301, 303, 研519	心理学概論 (遠隔) 心理学と医療 IV (看護部長) 臨 2		情報リテラシー (野口・川人) マルチ	
5月16日 水	大学入門ゼミ (川人 他) 301, 303, マルチ	心理学概論 心と身体の健康 I (薬剤部長) 臨 2		情報リテラシー (野口・川人) マルチ	
5月23日 水	大学入門ゼミ (川人 他) 301, 303, マルチ	心理学概論 心と身体の健康 II (男女共同参画推進室) 臨 2		情報リテラシー (野口・川人) マルチ	
5月30日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, 研519	心理学概論 心と身体の健康 III (保健管理センター) 臨 2		情報リテラシー (野口) マルチ	
6月6日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, 研519	心理学概論 心理学とは・心理学の成り立ち (林) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
6月13日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, マルチ	心理学概論 認知・学習 (川人) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
6月20日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, 研519	心理学概論 感情・人格 (橋本) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
6月27日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, 研519	心理学概論 発達 (林) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
7月4日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, マルチ	心理学概論 社会・集団 (野口) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
7月11日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, マルチ	心理学概論 脳の働きと心の障害 (神原) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
7月18日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, 研519	心理学概論 心理臨床 I (竹森) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
7月25日 水	大学入門ゼミ (野口 他) 301, 303, 研519	心理学概論 心理臨床 II (山田) A		情報リテラシー (野口) マルチ	
8月1日 水	学期末試験期間				

	I 8:50-10:20	II 10:30-12:00	III 13:00-14:30	IV 14:40-16:10	V 16:20-17:50
10月3日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 医学の基本 （黒滝） A		
	オリエンテーション／からだを知らう 1 （神原・岡田 他） D	からだを知らう 2 （神原・岡田 他） D			
10月10日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 医学の歴史 （神原） A		
	学外実習の説明 （神原・岡田 他） D	高齢者の福祉施設について （神原・岡田 他） D			
10月17日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 人体の構造と機能 （黒滝） A		
	実習場所の選択 （神原・岡田 他） D				
10月24日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 環境・文化と人間の健康 （神原） A		
	グループワーク （神原・岡田 他） D				
10月31日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 病気の基本 （黒滝） A		
	学外実習 1-1 （神原・岡田 他）				
11月7日 水 (月曜日授業)	全学共通科目（幸町キャンパス） (月曜日授業に振替)				
11月14日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 病院・病態別の病気の分類 （神原） A		
	学外実習 1-2 （神原・岡田 他）				
11月21日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 器官・領域別の病気の種類 （黒滝） A		
	PBLチュートリアル 1, 2 （神原・黒滝 他） A				
11月28日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 病気の診断 （黒滝） A		
	学外実習 2-1 （神原・岡田 他）				
12月5日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 病気の治療と予防 （黒滝） A		
	学外実習 2-2 （神原・岡田 他）				
12月12日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 医療の基本 （黒滝） A		
	学外実習のまとめ （神原・岡田 他） D	チュートリアル準備 （神原・黒滝 他） A			
12月19日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 医療の現場 （黒滝） A		
	PBLチュートリアル 3, 4 （神原・黒滝 他） A				
1月9日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 社会医学の視点：公衆衛生学 （黒滝） A		
	PBLチュートリアル 5, 6 （神原・黒滝 他） A				
1月16日 水 (金曜日授業)	全学共通科目（幸町キャンパス） (金曜日授業に振替)				
1月23日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 予防医療 （黒滝） A		
	PBLチュートリアル 7, 8 （神原・黒滝 他） A				
1月30日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 社会の医療情勢と医療体制 （黒滝） A		
	学外実習発表準備 （神原・岡田 他） D	PBLチュートリアル発表会 （神原・黒滝 他） A			
2月6日 水	早期体験学習（多職種連携）		人体の構造と機能及び 疾病 I（医学概論） 医療法規と医療行政 （黒滝） A		
	学外実習発表会 （神原・岡田 他） D				
2月13日 水	学期末試験期間				



**KAGAWA
UNIVERSITY**

Faculty of Medicine

2018